

十日、積載
並行動、関
スル命令

ニ於テ旅團司令部及營盤警備隊
長ニ交渉シテ移駐セシメラレ度

第三節 第一回軍需品ノ輸送

十月十一日午後五時左記明白ニ關スル命令ヲ下達ス

關自作命第二九號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十一日午後五時
於南雜木關自隊森

一旅團ノ狀況ニ關シテハ其後新報ヲ得ス
ニ自動車隊ハ明日十二日糧秣及彈藥ヲ積
載シ新賓ニ輸送ノ目的ヲ以テ左記行
進順序ニ依リ先ツ木奇ニ向ヒ前進セントス

左記

一、隊本部
一、第二中隊
一、收容班

但第二中隊ヨリ掩護歩兵ヲ搭載セ
ルニ輜ヲ前兵トシ本部、前方ヲ行進
セシムヘシ又板ヲ積載セル車輛ヲ中
隊ノ先頭ニ予備車ヲ收容班トシ行
進セシムヘシ
三、第二中隊ハ掩護歩兵中隊及別紙数量
ノ糧秣、彈藥ヲ積載シ午前九時三十分
迄ニ停車場前ニ於テ出發準備ヲ完
了スヘシ糧秣及彈藥ノ受領ニ就テハ
軍經理部々員岩倉主計及野戰兵器

廠員木下工兵大尉ト連絡スヘシ
 四、我料廠ハ收容班トナリ第二中隊ノ後
 尾ヲ行進シ事故車ノ收容ニ任スヘシ
 五、掩護歩兵中隊ハ主力ヲ以テ第二中隊
 一部ニ以テ收容班ノ掩護ニ任スヘシ
 六、八午前七時撤去スヘシ
 但シ中隊長ハ隊長ト同車スヘシ
 六、行軍計画ハ別ニ示ス
 七、余ハ午前八時驛前ニ爾後前兵ノ後
 尾ニ在リテ前進ス

關東軍野戰自動車隊長 落合中佐
 下達法
 命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

糧秣及彈藥積載數量

一、糧秣

精米

一四。俵(三斗八)

燕麥

五。俵

(四斗五)

携帶罐詰肉

四五箱(四貫八)

食塩

三。梱

(買多。冬)

味噌

六樽(買多。冬)

砂糖

二。樽

(六貫八)

新奈良漬

一。梱(二。貫八)

二、彈藥

關自作命第二十六號ニ示ス

集積計風中

新賓集積量ノ全部

三、其、他

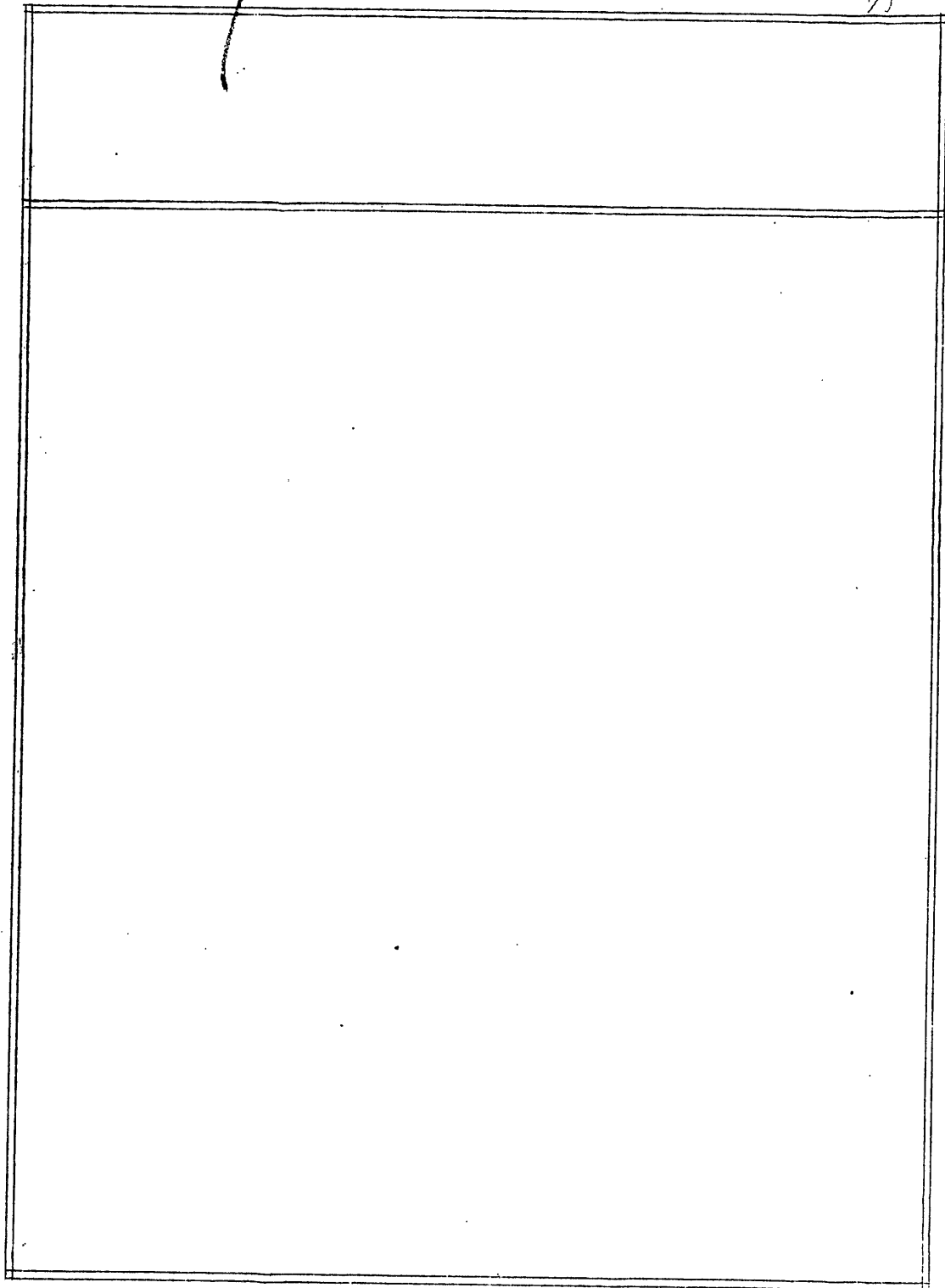
雨覆一。枚

倉庫用品

若干

8724

75



101

1173

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

6/22

行軍ニ關スル
命令

十月十二日 晴 氣温 午前六時。度

南雜木ヲ發シ馬連塚ニ至ル

午前九時右命令ニ基ク軍需品ノ積載ヲ完了シ左記關自作命令第三。號ヲ下達シ南雜木ヲ出發ス

關自作命令第三。號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十日午前九時
於南雜木關自隊本部

一、聶兒庫ニ約四百ノ兵匪アリ一作九日友軍ヨリ出セシ密偵四名ハ拉致セラレ消息不明ナリ
道路ノ景況ニ就テハ一昨九日混成第十四旅團自動車班ノ行進セシ所ニ依ルニ極メ

テ困難ニシテ悲歎的ナル通報ニ接シ居レリ
一隊ハ即時昨夜示セル行進順序ヲ以テ前
進セントス

三行軍計画別紙要圖ノ如シ(省略)

四予ハ中隊主力ノ先頭ニ在リテ行進ス

關東軍野戰自動車隊長 落合中佐

下達法

將校ヲ集メテ達筆記セシム

注意

一行軍速度ノ規定ハ中隊長ニ於テ實施ス
ヘシ

ニ警戒上ノ考慮ヨリ尖兵長ハ特ニ其ノ直後
ヲ行進スル隊長ノ運動ニ隨フヘシ之レカ

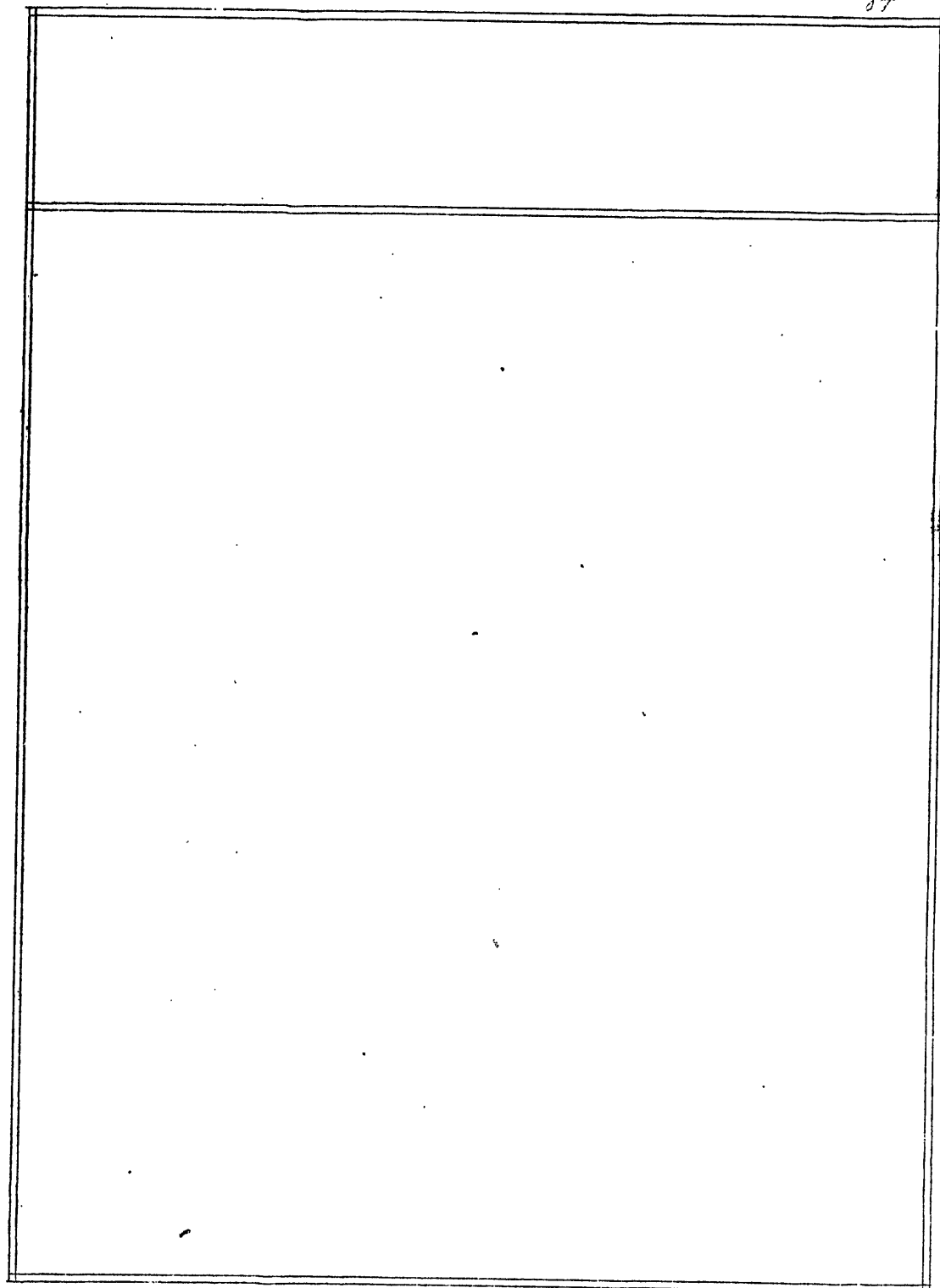
爲常ニ後方ト連絡ヲ密ニスルヲ要ス
 三尖兵長ハ特ニ警戒上ノ見地ヨリスル路面
 ノ視察ヲ密ニスル事必要ナリ（敵ノ術
 エニ落入ラサル爲）
 四各級幹部以下運轉手助手ニ至ル迄路
 面ノ判断ヲ適當ニシ之ニ相應スル速
 度ト操縦ニ注意スルヲ要ス又後方トノ
 連絡ヲ失セサル如ク注意スヘシ
 但シ著シク後方ノ速度拘束セラレテ停止
 シ自動車部隊ノ性能ヲ十分發揮ス
 ルコト能ハサル如キコトナキヲ要ス
 五歩兵中隊ニ於テハ行進中ハ自動車ノ音
 響ノタメ銃聲等ヲ聴取スル事困難
 ナルヲ以テ各車毎ニ目視ニ依ル警戒ノ爲
 ノ責任者ヲ定メ置クヲ可トス

第一、行軍

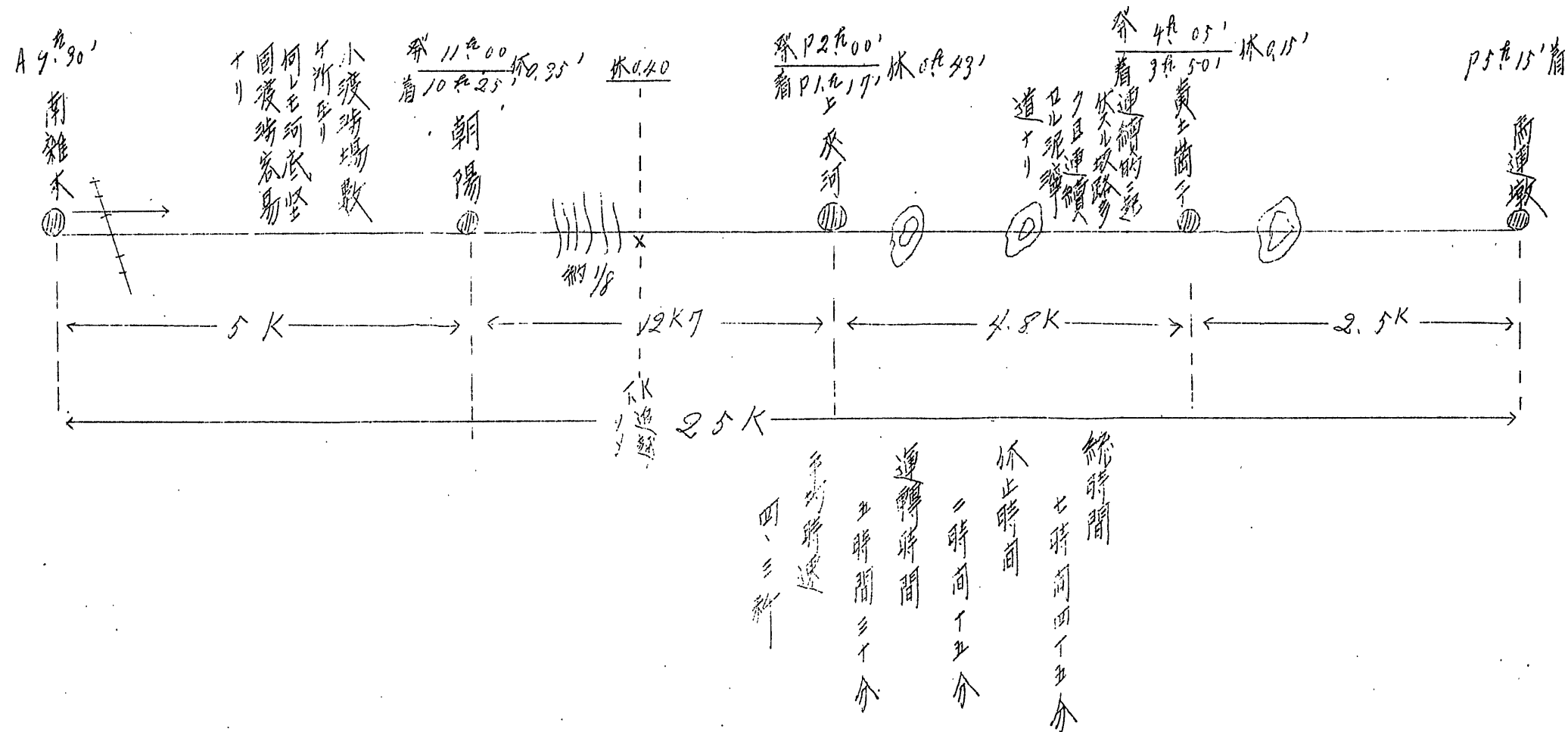
六、尖兵ニ在ル自動車小隊長ト歩兵小隊長
トハ連絡ヲ密ニシテ警戒ニ關シテハ歩兵小
隊長行進ニ關シテハ自動車小隊長之
レヲ行ヒ遺憾ナキヲ要ス
七、行軍中ノ停止ニ於テハ歩兵中隊長ハ直
接警戒ノ所置ヲ適宜實施スヘシ

途中幾多ノ細流ヲ渡渉シ山間ノ各地ヲ
縫ッテ聶兒庫——上夾河道ヲ南下ス土
質一般ニ砂礫ニシテ堅硬午後零時五
十分上夾河ニ到着シ約四十分ノ大休止
ヲ行フ上夾河ハ昨十日旅團ノ前進ニ
伴ヒ敵ノ抵抗セシ所トテ土民ハ民家ヲ
放棄シテ逃亡シアリ
上夾河ヨリ道路ノ泥濘逐次甚シク加フル

ニ馬連墩峠ヲ始メ大小幾多ノ坂路アリシ
 ヲ以テ之レカ通過ニ幾多ノ困難ヲ排除シ
 殊ニ上夾河、黄土崗子間約四料ハ泥濘
 殊ニ甚シク午後五時隊ノ先頭ヲ以テ馬
 連墩ニ達ス
 前進目標ハ木奇、豫定ナリ道路ノ景況並ニ
 其他ノ狀況ヲ考察シテ馬連墩ニ宿營スルニ
 決シ昨十一日南雅木ヲ出發シテ泥濘惡
 路ト戦ヒツ、前進セル混成第十四旅團
 自動車班ト共ニ宿營ス
 本日ニ於ケル行軍實施ノ狀況別紙ノ如シ
 シ本日ニ於ケル行動並地形調査要圖別紙ノ如



表施實第行間木雜南
敷運島固一第
(ルヤ於二日二イ月イ)



00,600

100,000

但レ此河ヨリ莫ク齒子間ハ泥濘深ク
一般ニ小獲涉場多ク以テ大雨及莫、直
後ニ於テハ通過不可能ニレテ雨期ニ
於テハ相當ノ工事ヲ要ス

隊ハ午前大時南雜不聚前ニ集合シ軍需品ヲ
搭載シテ午前九時莫、先頭ヲ以テ南雜不ヲ出發
途中幾多地形ノ困難ヲ排除シテ、戰車隊及
野砲隊大隊ヲ追越シ馬運搬ニ到着村卷
露旁ス
馬運搬ニハ昨十日南雜不ヲ出發セル
混成隊ヲ四隊團自勤軍駐在ニ有テ刻刻
着宿常ニアリ



筋道、地動度
將采、價値

南難不、馬運搬
道ハ坂路ハ自勤車
御係、通過シテ
イモ程度ナルモ心疲
沸場多ク殊ニ水河
黄ガ蘭子向ハ泥濘、
琴ヲ通過困難ナリ
將來之ノ方面ハ自勤
車稼就、爲スハ相劣
ト事ヲ施サレハ自
勤車、特性ヲ發
揮スルヲ困難ナ

リ

佳 文 地 及 物 資

蘭 雖 不 八 藩 海 鐵 道 一 駛 テ レ ハ
 將 系 祭 展 余 地 ヲ ル 毛 他 ハ 皆
 英 六 村 シ レ テ 祭 展 見 込 ヲ レ
 物 資 ト レ テ ハ 鳥 獸 及 若 干 穀
 類 ヲ 得
 水 質 ハ 南 雜 不 八 良 好 ヲ ル 毛 他 ハ
 一 般 ニ 不 良 シ レ
 飲 用 ヲ 適 前 衛 光 鐵 道 沿 岸
 伊 多 分 割 着
 伊 多 葉 落 着 了



十月十三日
行動ニ関スル
隊命令

午後九時明日ニ關スル左記隊命令ヲ下
達シ興京ニ向ヒ前進スルニ決ス

關自來命第三號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十二日午後九時
於馬連墩關自隊本部

一混成第十四旅團ハ其ノ第一線ヲ以テ永陵
街ニ進出シアリ

二自動車隊ハ明日午前五時三十分宿
營地出發新賓(興京)ニ輸送シ成シ
得レハ馬連墩ニ歸還スル目的ヲ以テ

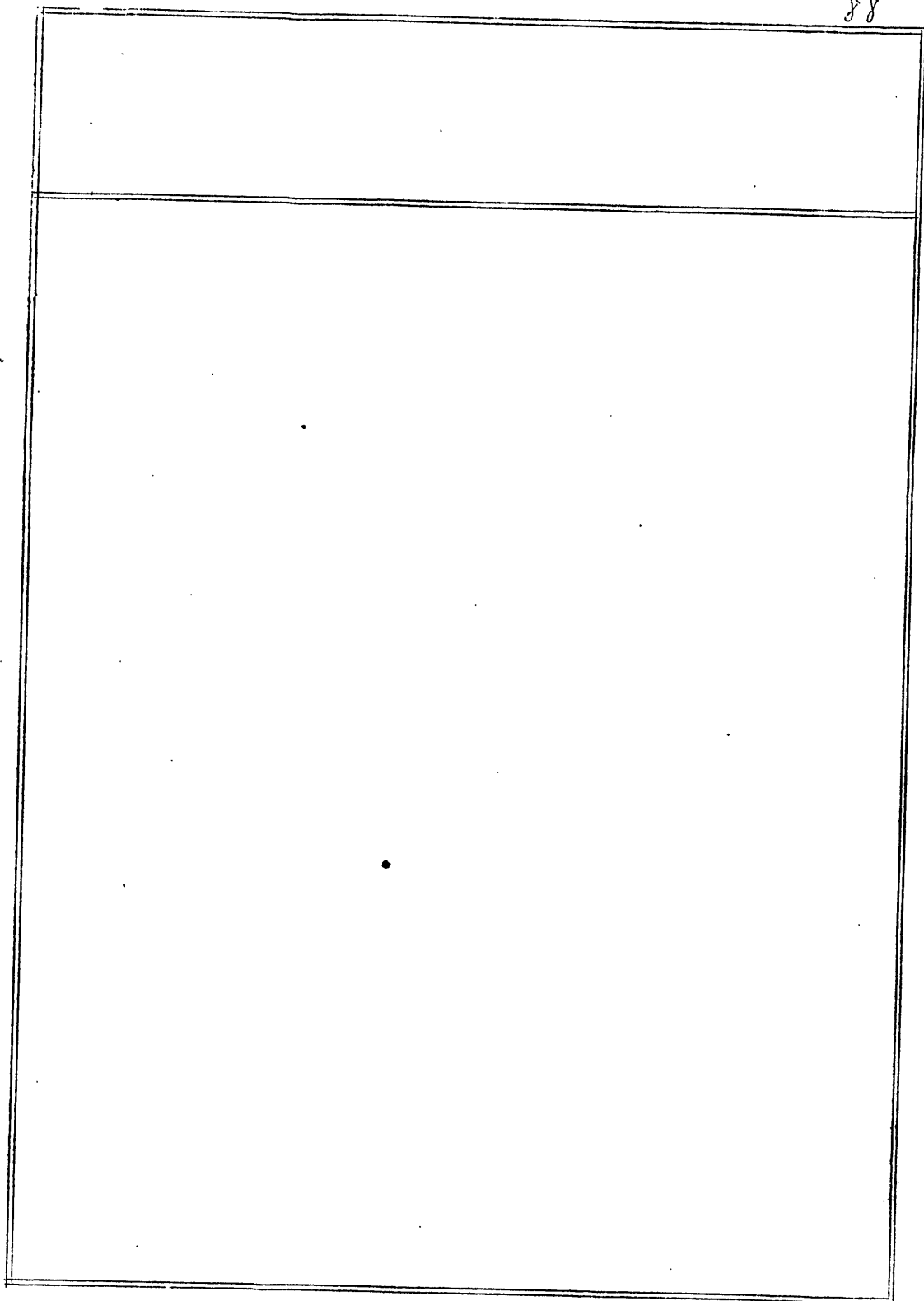
先ヅ興京ニ向ヒ前進セントス

三各隊ハ午前五時二十分迄ニ車廠ニ於テ
出發準備ヲ完了スヘシ

四行進順序搭載區分及材料廠掩護步

兵中隊、任務ハ關自作命第二九號ニ同シ
 但前兵ノ掩護歩兵ハ一部ノ兵力ヲ減シ
 其ノ車輛ニ道路修理ニ要スル器材ヲ積
 載スヘシ
 尚前兵ハ後續車輛ノ通過ヲ考慮シ道路
 ノ整理ニ任スヘシ
 又警戒兵ハ午前五時撤去スヘシ
 五、側車附自動二輪車(運轉手共)ハ當地
 警備小隊ニ預托シ置クヘシ
 細部ニ就テハ別ニ示ス
 六、行軍計画ノ概要次ノ如シ
 水奇 永陵街ニ於テ各々約三十分間ノ小
 休止
 午前十一時三十分新賓到着ノ豫定
 七、余ハ午前五時二十分車廠ニ在リ爾後

中隊主力ノ先頭ニ在リテ行進ス
 關東軍野戰自動車隊長 落合中佐
 下達法
 命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム



113

1186

第二日ノ行軍

馬連墩嶺ノ
通過並篠面
蘇子河ノ渡渉

十月十三日 晴 氣温午前六時六度

馬連墩ヲ出發シ下蘭ニ至ル

隊ハ興京ニ向ヒ前進スル目的ヲ以テ午前
五時五十分宿營地馬連墩ヲ發シ馬連
墩嶺ノ險ヲ越ス同峠ハ上下共ニ概
一軒最大傾斜 $\frac{1}{5}$ ニシテ路面ハ泥濘惡
路膝ヲ沒スル有様ニシテ道路ヲ補修シ
人力牽引其他ノ方法ニ依リテ幾多ノ困
難ト戦ヒツ、二時間ヲ費シテ通過シ午前
九時水手堡子ニ到着蘇子河ノ渡渉ヲ
開始ス河幅約百五十米水深七八十
兩岸又平坦ニシテ河底砂礫ナリシヲ以
テ逐次到着スル部隊毎ニ河岸ニ開進セシメ兩
岸及渡渉線ニ樹枝及苦力ヲ配置シ各

河第二回蘇子
渡渉

車概ネ五十米ヲ間シテ逐次渡渉セシメ來用
車及側車ハ全然渡渉不可能ナリシヲ以テ
材料廠ノ主力及隊ノ來用車側車全部ヲ
河根少佐ニ指揮セシメ約半小隊ノ掩護
歩兵ヲ附シテ南雜木ニ歸還セシメ隊長
以下悉ク貨車上ノ人トナリ對岸ニ兵力ヲ
集結シツ、約一時間ニシテ第一回渡渉ヲ
了リ更ニ行クコト約二十分ニシテ木奇北
側ニ於テ再ヒ蘇子河ノ渡渉ヲ實施ス
本渡渉場ハ幸ヒニシテ二ヶ所ノ渡渉點ヲ發
見スルヲ得渡渉點ノ狀況概シテ前者ト
同様ニシテ河幅稍々狭キモ後者ハ前者ニ
比シ水深稍深ク八九十厘米達シ河底又
大ナル礫石ヲ混入シテリシヲ以テ途中數輛
ハ水中ニ於テ機關部ニ侵水運轉不能

腹ニ陷リシヲ以テ全員丸裸トナリテ水深下
 腹ヲ没スル中ニ入リ引上作業ヲ實施
 シ通過セリ
 爾後更ニ前進ヲ續行シ大平嶺ノ峠ヲ
 越シテ午後四時二十分羊祭台ニ到着
 ス
 爾後道路泥濘愈々甚タシク加フルニ坂
 路アリ前進益々困難トナリ局部ハ殆ン
 ト各車毎ニ人力牽引ノ止ムナキ状態ニ
 シテ然ラサルモ低速行進ヲ持續セサル
 ヘカラサルノ狀況ニシテ羊祭台下園
 間僅カニ四五料ノ通過ニ約六時間ヲ
 要シ將兵一同膝ヲ没スルノ泥中ニ於テ行
 動ヲ繼續シ午後十時二十分部隊ノ先頭
 ヲ以テ漸ク下園ニ達セルモ爾後前進

ヲ繼續スルハ徒ラニ勞多ク部隊ヲ分離セ
 シメ集結困難トナル虞アリ殊ニ下園西
 方約一料ノ間ハ泥濘殊ニ甚シク各車殆
 ント車軸ヲ没スルノ状況ニシテ樹枝、高粱殻等
 ヲ轍痕ニ挿入シ車輛ノ前端「バンパー」ニテ
 泥土ヲ押シ分ケツ、堆積セル泥土ハ之レヲ除キ
 各車最低速度最大發力ヲ出シ尚且人
 カニ依リアラユル苦難ト戦ヒツ、前進
 スルノ状況ナリシヲ以テ下園ニ兵力ヲ
 集結シ夜ヲ徹スルニ決シ宿營ニ關スル命
 令ヲ下達ス時ニ午後十一時ナリ

本日ノ宿營命
令

關自作命第三四號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十三日午後十時五分
於小夏園關自隊本部

- 一、旅團ハ沿道ノ匪賊ヲ擊退シツ、其ノ第一線ヲ以テ新賓ニ到着セルモノ、如シ
- 二、永陵街ニハ警備隊約二小隊位置シアリ
- 三、自動車隊ハ豫定ヲ變更シ小夏園ニ宿營セン
- トス
- 三、各隊ハ別ニ示ス所ニ依リ村落露營スヘシ
- 四、掩護歩兵中隊ハ車廠ノ警戒ニ任スヘシ
- 五、各隊ハ各宿舎毎ニ直接警戒ヲナスヘシ
- 六、給養ハ携行セルモノヲ用フ
- 七、即時車廠ニ於テ分配ス
- 八、各隊ハ明十四日午前六時五十分迄ニ車廠ニ於テ出發準備ヲ完了スヘシ

前野大尉
報告

八余ハ此ノ家ニ在リ

關東軍野戰自動車隊長 落合中佐

下達法

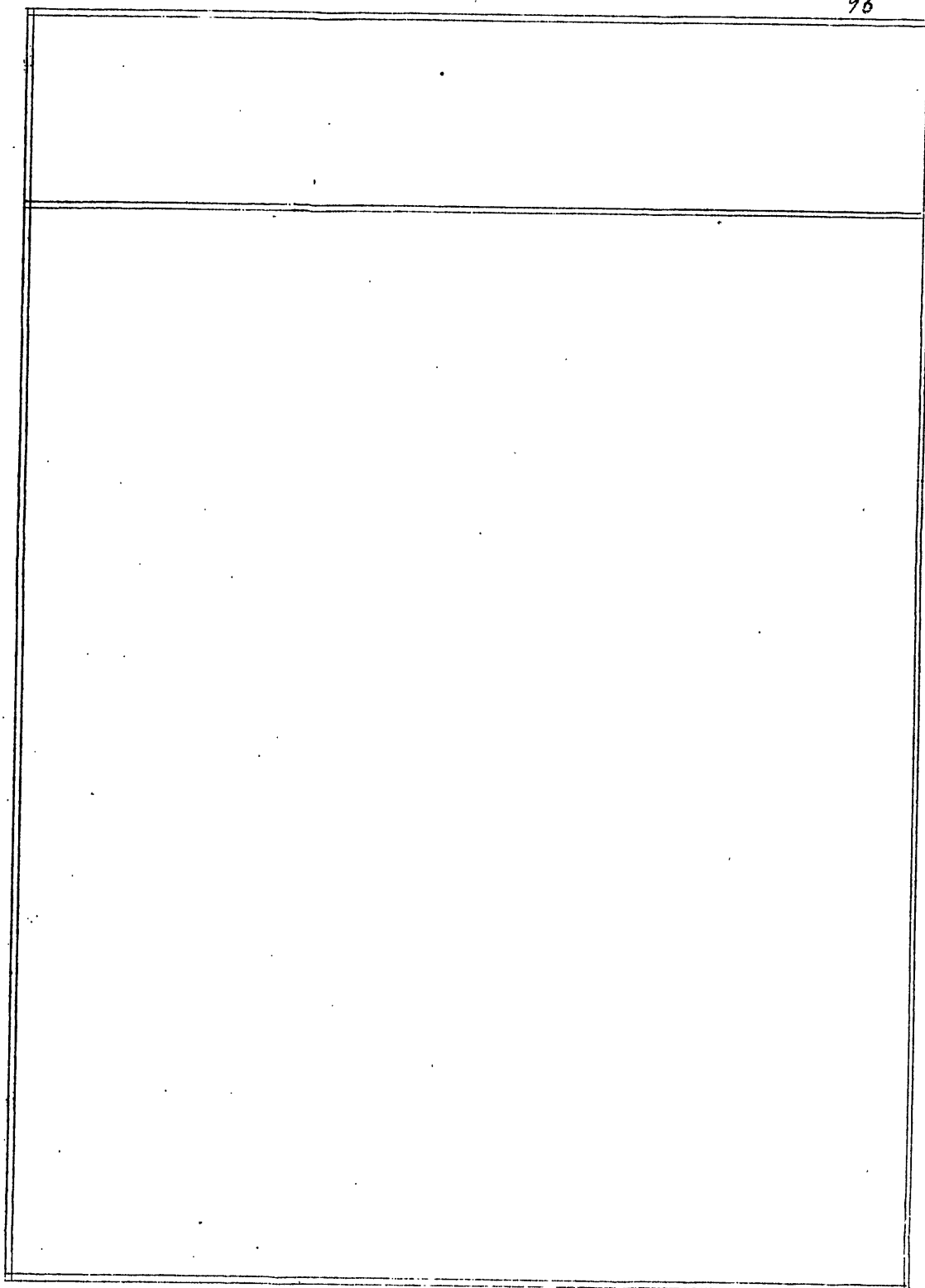
各隊命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

之レヨリ先小夏園西方約一料ノ地點ニ於テ後
方ノ收容ニ任シアリシ前野大尉ヨリ左記
ノ報告ニ接ス

左記

ハ修理班ハ放熱函及風扇ノ破損ヲ修理シ
中間制動輪ノ破損車輛ヲ牽引シツ、萬難
ヲ排シテ部隊ニ追及中北勾ノ急坂路ニ

於テ牽引不可能ナルタメ同地ニ於テ
 徹夜修理ヲ決行ス
 2. 給養ハ携帶口糧乙ヲ使用ス
 3. 警戒ハ兵力前野火尉以下二十六名ナルモ
 御安心ヲ乞フ
 本日ニ於ケル行軍實施ノ狀況別紙要圖
 如シ
 本日ニ於ケル行動並地形調査要圖別紙ノ
 如シ



馬車道——下園（不復園）道（大）
雨及其直後、外自動車部
自全隊、通過、許入
馬下、但シ家用車、側車、通過、許入

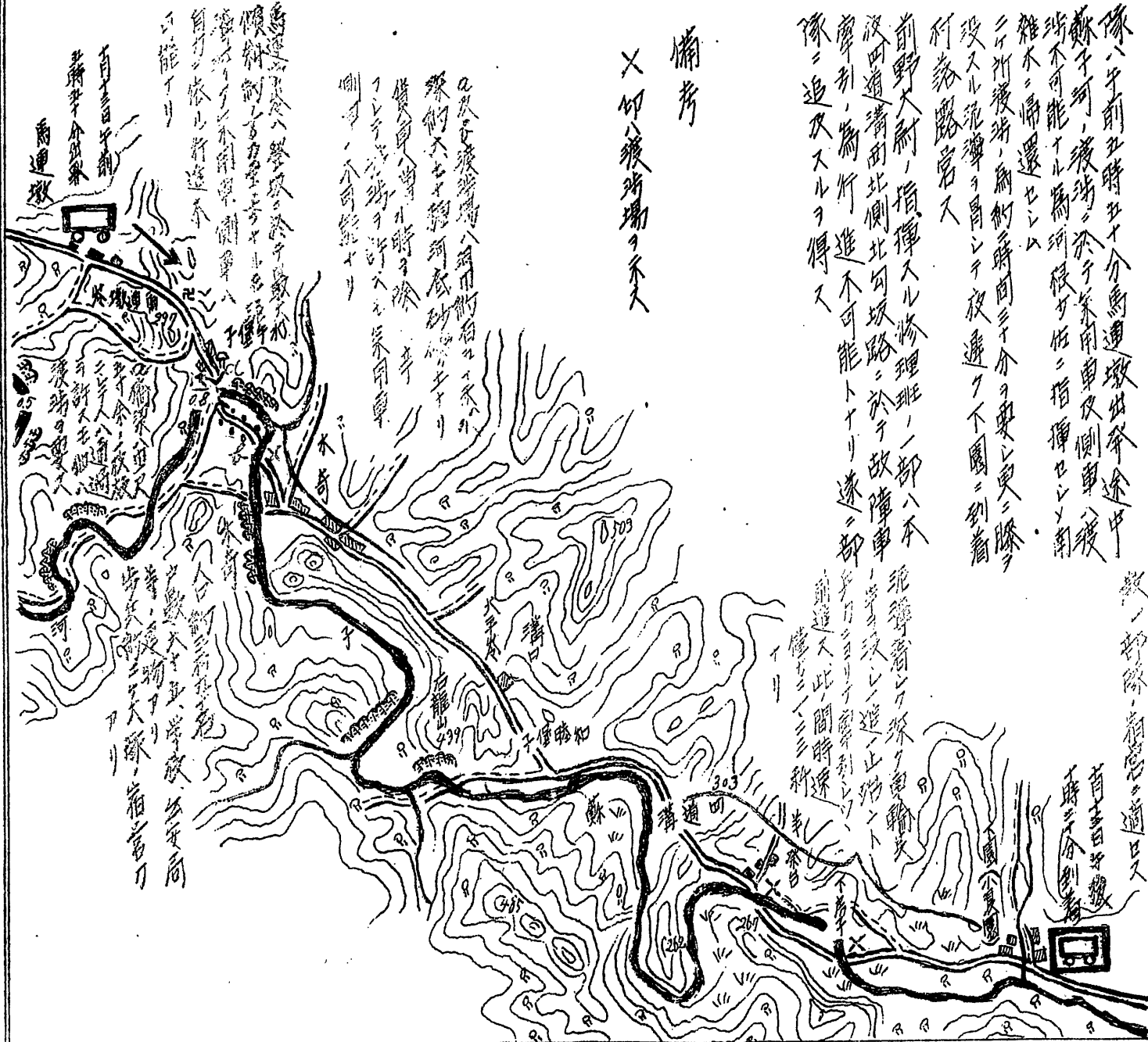


行動概要

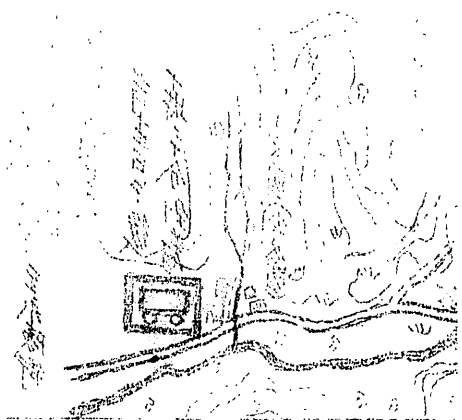
隊ハナリ前ニ時ニイ分爲運搬出發途中
敵ヲ倒シ、後方ニ於テ策前進及側面ハ後
方不可能ナル爲頭後方ニ指揮セシメ南
雜木ニ帰還セシム
シテ前進時、敵約ニ時同ニイ分ヲ要シ更ニ膝ヲ
段スル飛躍ヲ冒シテ放逐ク下園ニ到着
行露露常ス
前野大尉、指揮スル修理班ノ一部ハ本
隊前進時南北側北向坂路ニ於テ故障車
庫ヲ爲行進不可能トイリ速ニ部
隊ニ追及スルヲ得ス

備考

× 却八獲瑞場ヲ示ス

[illegible]

1197

[illegible][illegible]

2811

第百行軍

十月十四日 晴 氣温 午前六時六度

下園ヲ出發シ新賓ニ至ル

午前六時三十分傳令(昨夜到着セシ傳令ニシテ更ニ掩護歩兵六名ヲ増加シ糧秣約一日分ヲ苦力ヲシテ携行セシム)ヲシテ前野大尉宛左記要旨ノ命令ヲ傳達セシム

命令ノ要旨

ハ自動車隊ハ豫想以上ノ悪路ニ遭遇シ豫定ノ如ク行動セス昨夜下園ニ宿營シ本十四日新賓ニ前進シ積載品ヲ交付シタル後成シ得レハ木奇ニ歸還ス
 2. 前野大尉ハ其ノ修理班ヲ指揮シ現在地ニ於テ主力ノ到着ヲ待知ヘシ

本日
行軍命

成シ得ル限リ附近ノ道路ヲ補修スヘシ

午前六時五十分左記關自作命第三十六號ヲ
下達シ七時三十分下園發同四十分永陵
街ニ到着シ該地警備隊ト連絡シ故障車
ヲ依頼シ更ニ前進ヲ續行ス

關自作命第三十六號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十四日午前六時五分
於小夏園關自隊本部

一敵情及友軍ノ狀況ニ就テハ其後新報ヲ
得ス

二自動車隊ハ即時出發永陵街—新賓道
ヲ新賓ニ前進シ積載品ヲ交付シタル後
成シ得レハ本奇迄歸還セントス

三行軍順序及警戒ノ區處ハ昨日ニ同シ
 四行軍計画ノ概要次ノ如シ
 永陵街、撥捕溝ニ於テ各二十分ノ小休
 止午前十一時三十分新賓着、豫定
 銓距離二十四料
 五余ハ中隊主力、先頭ニ在リテ行進ス
 關東軍野戰自動車隊長 落合中佐
 下達法
 各隊長ヲ集メテ達ス

注意
 一進路ノ偵察ハ確實ニ行フヲ要ス
 之カ爲多少時間ヲ要スルモ止ムヲ得ス
 一迂回路ノ偵察ニ當リテハ其距離長キ時ハ

行軍實施ノ
狀況

出ロノ偵察ハ現地ニ行カサルモ豫想ニ依リ
テ自動車ヲ入レテ可ナリ
一歸路行軍ニ於テハ車輛モ輕ク道路ノ狀
況モ承知スルヲ以テ特ニ勇敢ナルヲ要ス

午前八時四十分河北（永陵街東方約一里）
東側ニ達セシ時同地道路ノ一側ニ聳立セ
ル突元クル山ニ遭遇シ該山林ノ道路ハ泥
濘殆ント股ヲ沒スルノ有様ナリシヲ以テ茲
ニ前日ニ回ノ渡渉ニ引續キ今又第三回ノ
蘇子河ヲ渡渉セサルヘカラサリシモ幸ヒ水
深五、六十浬ニシテ河幅又三、四十米ニシテ
河底ハ大ナル礫石ヲ混セサル平坦ナル河
底ナリシヲ以テ容易ニ渡渉ヲ實施シ興

京―東石廠道ヲ出テ東石廠西側ニ於テ四
度蘇子河ヲ渡渉シテ前進中滿洲國奉天
守備隊副官ニ會シ

混成第十四旅團司令部ハ本拂境通化ニ
向ヒ前進シ新賓ニハ其ノ一大隊駐屯シテ
ルコト

新賓ニハ滿洲國董支隊駐屯シテ

ヲ知り正午下大甸子ニ達ス
下大甸子附近ノ部落ヲ中心トスル東西約一
軒ノ間ハ道路ノ泥濘殊ニ甚シク加フルニ
之レヲ避ケテ迂回スヘキ道路ナカリシ爲之レ
カ通過ニ又々將兵一同或ハ樹枝ヲ或ハ高
梁穀ヲ集メテ道路ノ補修ヲナシ或ハ牽引

第一回輸送ヲ
終レルコトヲ軍
司令官ニ報告

後押シ、引出シ等アラユル方法ヲ盡シテ之レ
カ難路ノ突破ニ努カシ午後二時三十分新
賓ニ近付クニ從ヒ始メテ道路稍々良好ト
ナリシヲ以テ隊本部ハ所要ノ機關ヲ伴ヒ岩
倉主計及兵器廠員木下工兵大尉ヲ同道
シ新賓ニ先行シ直チニ警備大隊ト連絡シ
彈藥、糧秣ヲ卸下集積位置ヲ新賓小
學校ニ決定シテ部隊ノ到着ヲ俟ツト共ニ
左ノ處置ヲ採ル時正ニ午後三時十五分ナリ

人軍司令官宛有線電信ヲ以テスル報告

新賓ニ至ル補給路ハ荒廢甚シク豫想以
上ノ難路ナリシモ將兵一同ノ奮勵ニ依リ
本十四日第一回ノ輸送ヲ終ル、尚引續

※爾後ノ輸送ニ努カセントス 御安心ヲセ
フ (電報)

左兵站線自動車隊長北園少佐宛通報
此ノ方面ハ道路ノ荒廢甚シク豫想以上
ノ難路ナリシモ本十四日第一回ノ輸送ヲ終
リ一同無事南稚木氣付ニテ其ノ方面
ノ狀況知リタシ (電報)

3. 河根少佐宛通報
隊ノ狀況ニツキテ通報ス (電話連絡)

斯クテ部隊ノ到着ヲ待ツ内部隊ハ五度新
賓兩側ニ於テ蘇子河ヲ渡渉シ午後三時
三十分新賓ニ到着セルヲ以テ直ニ積載品ヲ
卸下集積シテ軍倉庫部員ニ交付シ四時

新賓ニ於ケル
宿營命令

十分之レヲ終了セリ
此ノ日更ニ引返シ木奇ニ歸還セントセルモ道路
ノ景況前述ノ如ク然モ現ニ交付ヲ終了セ
シ時ハ四時ヲ過クルコト半ナリシヲ以テ隊ハ此
夜新賓ニ宿營スルニ決シ午後五時左記宿營
命令ヲ下達ス

關自作命第三七號

關東軍野戰自動車隊命令

十月十四日午後五時
於新賓學校關自隊本部

一混成第十四旅團ハ昨日新賓西端ニ於テ有力
ナル匪賊ヲ擊退シ本早朝通北方面ニ前進
セリ

新賓ニハ歩兵第二十六聯隊大隊長指揮

スル一中隊ノ警備隊及董支隊警備ニ任
シアリ
二自動車隊ハ本十四日夜新賓ニ宿營シ明
早朝出發歸還ノ途ニ就カントス
三各隊ハ本小學校ニ舍營スヘシ
四掩護歩兵中隊ハ舍營地直接ノ警戒ニ任ス
ヘシ
特ニ警戒ニ就テハ警備隊ト連絡スヘシ
五給養ハ携行セル糧秣ニ依ル
即時現在地ニ於テ分配ス
六各隊ハ明十五日午前五時車廠ニ於テ出
發準備ヲ完了スヘシ
七余ハ小學校ニ在リ
關東軍野戰自動車隊長 落合中佐

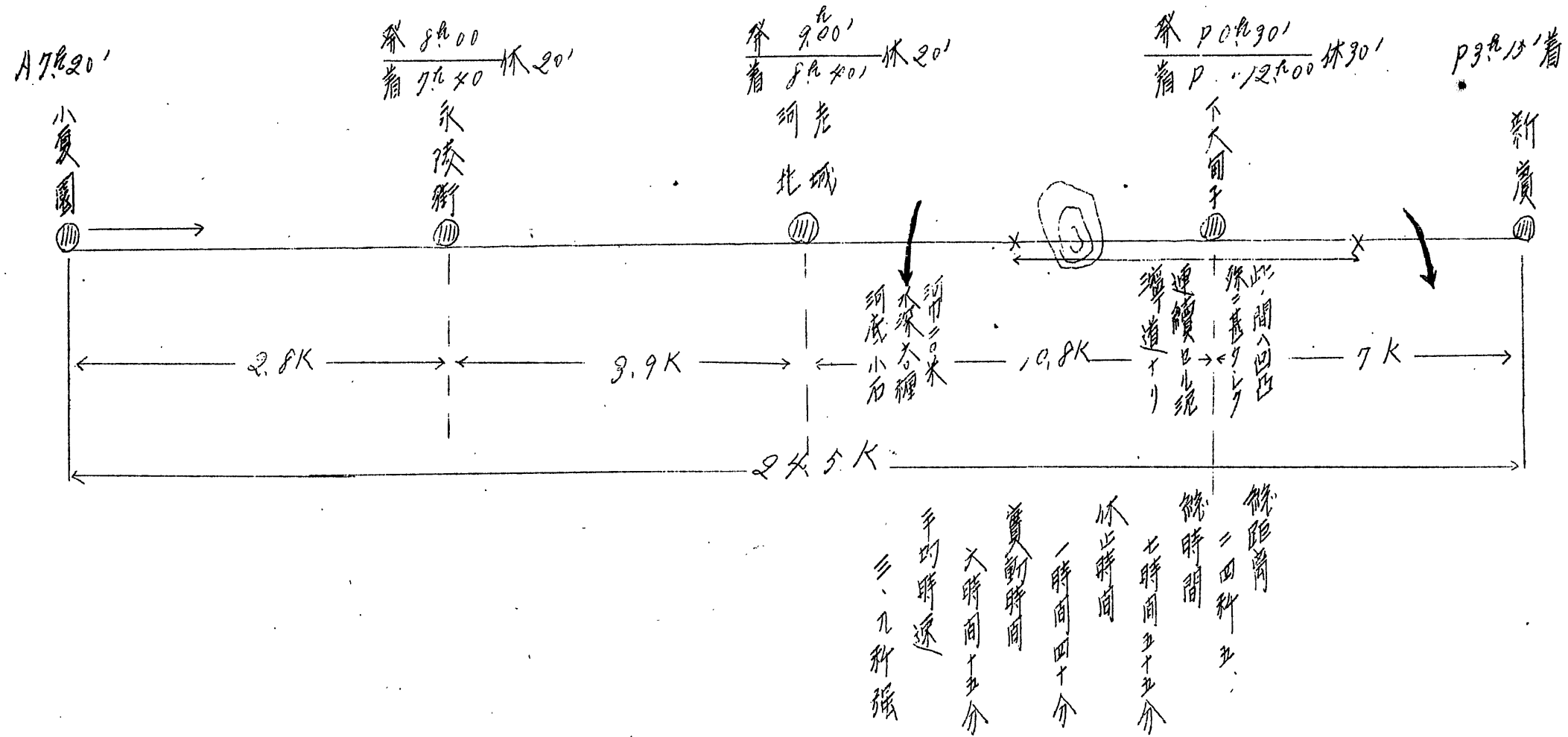
下達法

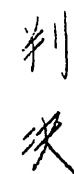
命令受領者ヲ集メテ達筆記セシム

十月十二日南稚木出發以來馬連墩嶺、大平嶺其ノ他幾多ノ坂路ヲ通過シ蘇子河ヲ渡渉スルコト五回ニ及ヒ此ノ間道路ハ泥濘膝ヲ没スルノ地形ナリシモ然モ地形ノ困難ニ遭遇スル毎ニ將兵一同勇ヲ鼓シテ前進ヲ強行シ一部ノ者ヨリ到底此ノ補給路ハ行動不可能ト迄謂ハレシ地形ヲ克服シテ茲ニ第一回ノ軍需品輸送ヲ了レリ

本日於ケル行軍實施ノ狀況別紙要圖ノ如シ
本日於ケル行動並地形調査要圖別紙ノ如シ

表 施 實 軍 行 間 國 貨 小 自 新 至 回 一 第
(日 四 十 月 十 於)





不園(小復園)一新賓
道(自勤車部隊)
通過ヲ許ス
但レ降雨及其直線ニ於テ
テハ相當ニテ勇ヲ要シ
困難ナルヘシ

行動，概要

隊ハ午前七時ヲ分下園ヲ出發入途中道路豪泥爲ノ不長ニシテ行軍進捗セザリレタ
以テ標次大尉ヲ前矢ニ増加シ部隊ヲ誘導ス又
道路狹窄ヲ指導セシメテ、前進ヲ強行シ
午後三時イハ分隊長ハ新廣ニ到着
營備隊長及重倉庫並矢倉廠員ト
連絡シ部下位置ヲ小学校ニ決定シ
午後四時イ分集積ヲ終了シ舍
第入

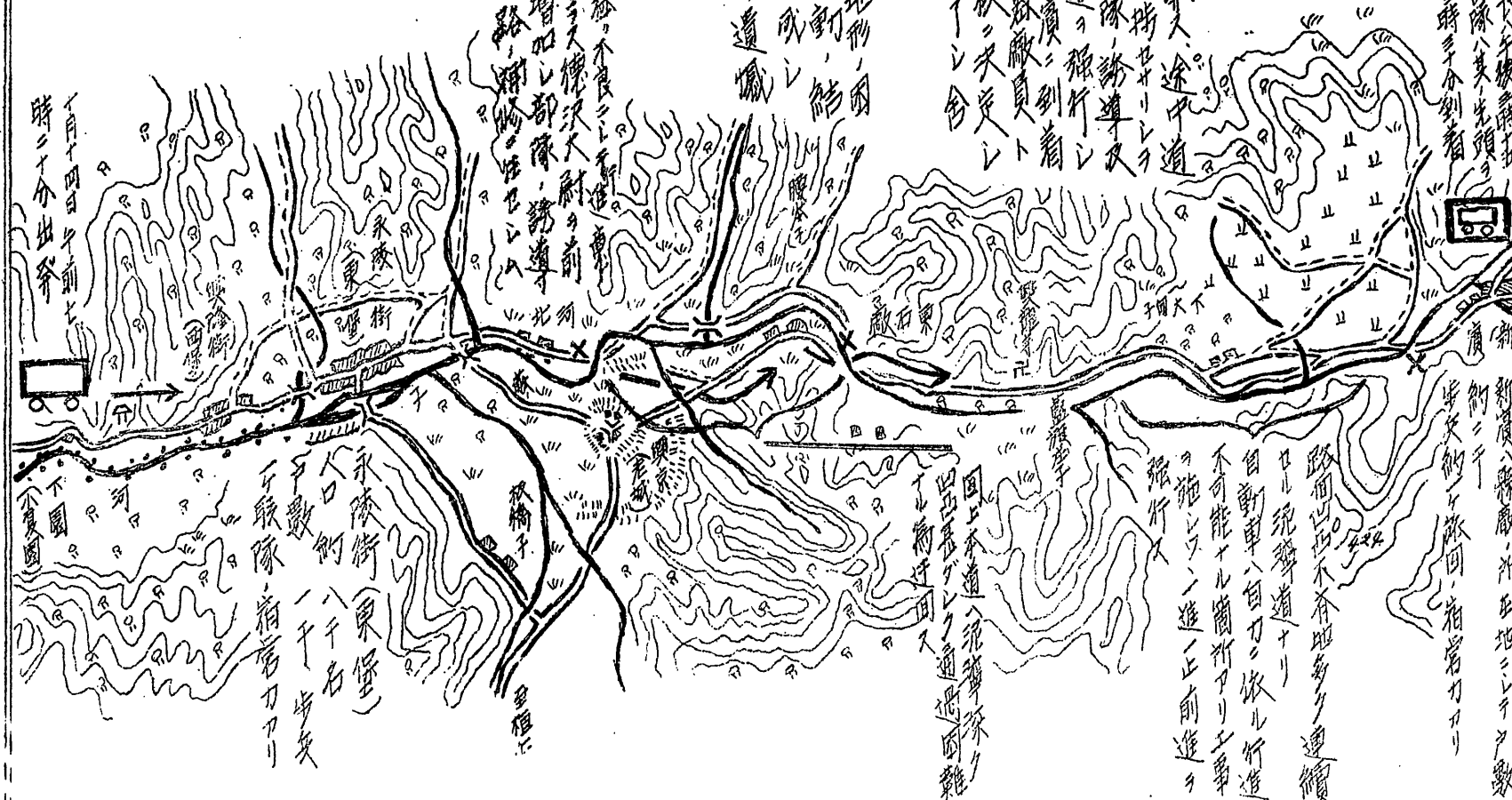
於茲將英二回三日間衆多地形、困難ヲ冒シ不眠不休、活動、結果、二回輸送、任務ヲ達成シ混成第四旅團、紛養ヲ遺憾ナラシムルヲ得タリ

備考

× 切ハ獲端場ヲ示ス

道路益々不長シトテ進東
如クテ大隈大尉ノ前
交々増加シ部隊ヲ誘導セ
ル道路ヲ修メ居ルハ

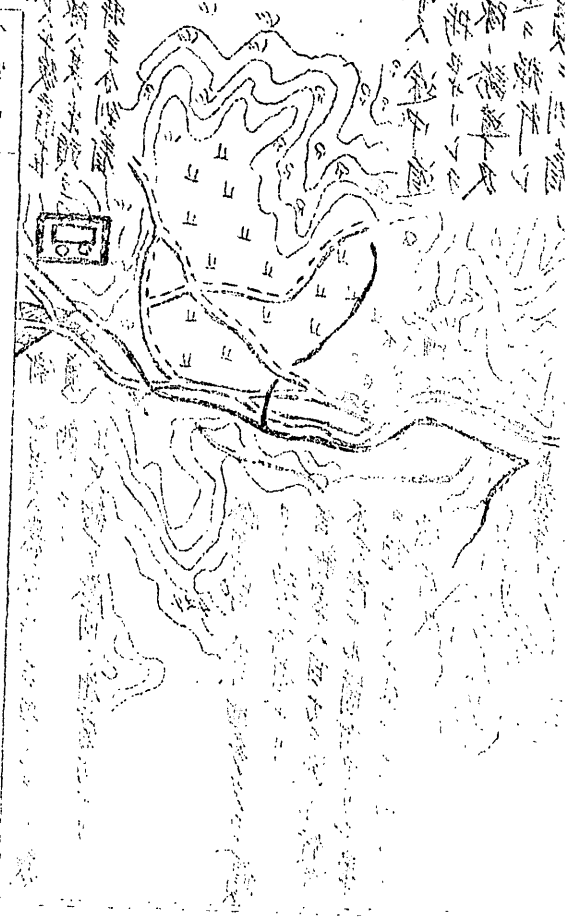
時三十分出糸



不 質 質	園——新廣間秘自 勤時 勤時間ニ対スル時速	——24.5 K ——6時間45分 ——3.6 K
得	於テハ行勤困難ナリ又渡場 場ハ之ヲ許サラン 故ニ將來之一方面ニ於ケル 自勤車作戦路トシテ便 用スル爲メハ道路ハ相當 ノ工事ヲ要シ橋梁ヲ架 設スルヲ要ス 石炭橋枕科ハ附近ニ 於テ蒐集スルコトヲ	不園——新廣道ハ自勤車 部隊通過ハ許スモ泥濘地 多ク又小狭渡場多ク又以テ 通過ノ爲メハ相當ノ補修ヲ要 ス、殊ニ降雨ハ莫ク直線ニ 於テハ行勤困難ナリ又渡場 場ハ之ヲ許サラン
水質ハ一般ニ良好 ニシテ飲用シ適ス	水質ハ一般ニ良好 ニシテ飲用シ適ス 積米ハ之ヲ輸送セズ 本討伐間ニ於テモ 調轉スルヲ得ルヲ以テ 多量ニ運搬スル現場 ヲ多量ニ運搬スル現場 殊ニ銅鑛人部隊多ク 穀物ヲ得	永陵衛及新廣ハ 相當ノ家産及合ノ價 スルヲ以テ將來之一方面 ノ交通施設ノ發達ニ 伴ヒ發展ノ余地ナル介 於テハ行勤困難ナリ又渡場 場ハ之ヲ許サラン

[illegible]

K. d. R.

[illegible]